

令和7年度日米豪共同指揮所演習(YS-89)の概要

名称

本演習の通称：YS-89（ヤマサクラ89）
日米の部隊章「富士山」と「桜花」が由来

演習目的

陸上自衛隊、米陸軍及び豪陸軍が共同して作戦を実施する場合における指揮幕僚活動を演練し、その能力の維持・向上を図る。

日時

令和7年8月21日（木）～9月1日（月）

場所

朝霞駐屯地、伊丹駐屯地 等

演習参加隊

自衛隊	米豪軍
陸上総隊、中部方面隊、教育訓練研究本部 等 計 約2,800名	米軍：第1軍団 等 計 約600名 <small>(第3マルチドメイン・タスクフォース、在日米軍、太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍等が支援)</small> 豪軍：豪陸軍第1師団 等 計 約100名

演習概要

- 日米豪の指揮幕僚活動の能力向上を目的とした、陸自の最大かつ最重要の日米豪の共同演習
- より効果的な演練のため、日米豪の共同により年間を通じた演練を実施
- 演習内容は、着上陸侵攻する敵部隊を撃破する陸上作戦を基本とし、この作戦を日米豪の共同で演練
- 一昨年に引き続き豪陸軍が演習部隊として参加
- 同志国からのオブザーバーが研修予定

演習形態

各駐屯地等において対面による指揮所活動を実施するとともに、TV会議の活用も含めた訓練を実施

昨年度の訓練イメージ

<YS-87(昨年度)の状況>



【訓練開始式】



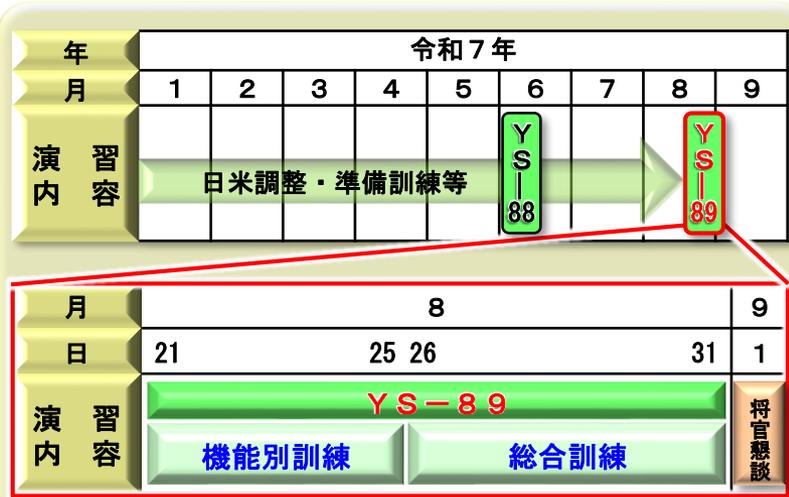
【同志国による研修】



【米国防長官の視察】



【将官懇談】



朝霞駐屯地におけるYS-89について

訓練目的

演習における中部方面総監部としての指揮幕僚活動能力の向上

参加部隊

部 隊		人 数
	教育訓練研究本部、陸上総隊 等	約1600名
	米第1軍団、在日米陸軍 等	約300名
	豪第1師団	約15名

訓練日程

月 日 曜	8											9
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1
	水	木	金	土	日	火	水	木	金	土	日	月
訓練 内容	機能別訓練					総合訓練						将官 懇談

※演習期間の
前後約1週間に
準備及び撤収の
ため期間を設定

参加部隊
行動予定

【陸上自衛隊】

朝霞駐屯地に所在する陸上総隊司令部及び目黒駐屯地の教育訓練研究本部の要員を基幹とし、各方面隊等からの増援を受けて本訓練に参加

【米 軍】

第1軍団の他、在日米陸軍司令部の要員等をもって本訓練に参加

【豪陸軍】

豪第1師団の要員をもって本訓練に参加

参加部隊
宿泊予定

演習の間、参加者は朝霞駐屯地及び練馬駐屯地に宿泊予定（一部は近傍の宿泊施設を利用）

伊丹駐屯地等におけるYS-89について

訓練目的

演習における中部方面総監部としての指揮幕僚活動能力の向上

参加部隊

部 隊		伊 丹	千 僧	川 西	小 計
	中部方面総監部、教育訓練研究本部 等	約1000名	約100名	約100名	約1200名
	米第25歩兵師団、米第1軍団 等	約260名	約20名	約20名	約300名
	豪第3旅団（豪第1師団）	約45名	約40名		約85名

訓練日程

月	8											9
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1
日	水	木	金	土	日	火	水	木	金	土	日	月
訓練内容	機能別訓練				総合訓練							将官懇談

※演習期間の前後約1週間に準備及び撤収のため期間を設定

参加部隊

【伊丹駐屯地】

中部方面総監部、米第25歩兵師団及び豪第3旅団の要員を主体とし、日米豪の共同による指揮幕僚活動を演練

行動予定

【千僧駐屯地】

第3師団司令部、米第25歩兵師団及び豪第3旅団の要員を主体とし、日米豪の共同による指揮幕僚活動を演練

【川西駐屯地】

教育訓練研究本部及び米第1軍団の要員を主体とし、本演習の教訓を収集

参加部隊
宿泊予定

演習の間、参加者は伊丹駐屯地及び千僧駐屯地に宿泊予定
（一部は近傍の宿泊施設を利用）